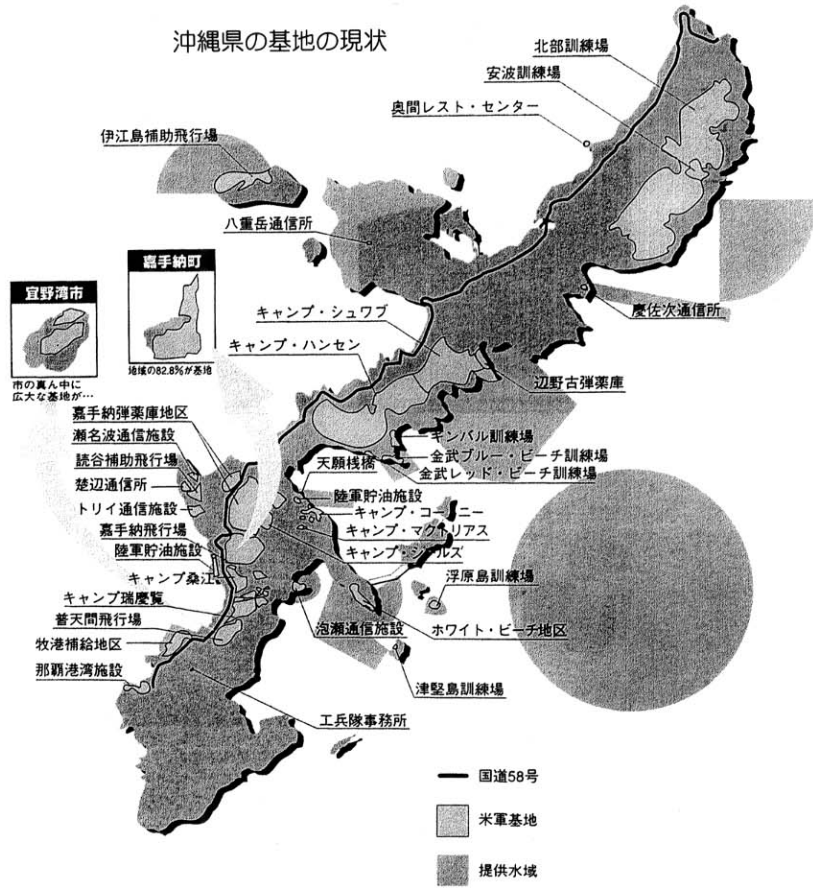


沖縄県の基地の現状



SACO最終報告における土地の返還等

施設名等	区分	施設面積 (ha)	返還面積 (ha) (返還年度(目途))	条件等
普天間飛行場	全部	481	481 (5～7年以内)	海上施設の建設を追求(規模1500m等) 岩国飛行場に12機のKC-130を移駐等 嘉手納飛行場における追加的整備等
北部訓練場	過半	7,513	3,987 (平成14年度末)	海への出入りのため土地約38ha及び水域約121haを提供 ヘリコプター着陸帯を残余の同訓練場内に移設
安波訓練場	全部	(480)	(480) (平成9年度)	(共同使用を解除) (水域約7,895ha)
キンバル訓練場	全部	60	60 (平成9年度末)	ヘリコプター着陸帯を金武ブルー・ビーチ訓練場に、その他の施設をキャンプ・ハンセンに移設
楚辺通信所	全部	53	53 (平成12年度末)	アンテナ施設及び関連支援施設をキャンプ・ハンセンに移設
読谷補助飛行場	全部	191	191 (平成12年度末)	パラシュート訓練を伊江島補助飛行場に移転 楚辺通信所を移設後返還
キャンプ桑江	大部分	107	99 (平成19年度末)	海軍病院等をキャンプ瑞慶覧等に移設(返還面積には返還合意済みの北側部分を含む)
瀬名波通信施設	ほぼ全部	61	61 (平成12年度末)	アンテナ施設等をトリイ通信施設に移設 マイクロウェーブ塔部分(約0.1ha)は引き続き使用
牧港補給地区	一部	275	3 (国道拡幅に合わせ)	返還に伴い影響を受ける施設を残余の施設内に移設
那覇港湾施設	全部	57	57	浦添埠頭地区(約35ha)への移設と関連して、返還を加速するために共同で最大限の努力を継続
住宅統合		648	83 (平成19年度末)	キャンプ桑江及びキャンプ瑞慶覧に所在する米軍住宅を統合
計		9,446	5,075	
新規提供			▲ 73	(那覇港湾施設35ha、北部訓練場38ha)
合計		11施設	5,002	県内施設面積の約21%減